

県内企業

経営 JIN けいえいじん

川崎友裕社長(68)は20歳の時に訪れた海外で、大手物流企業などの業務がコンピューターに管理されたネットワーク社会を目の当たりにし、「日本にもコンピューター社会が来る」と確信。22歳で地元宮崎に宮崎

川崎礼子副社長(60)は川崎社長の妻で、総務(人事、財務・営業の他、プロジェクト管理)にも目を配り、経営全般を担当する。毎年行なう事業発表会では全社員と懇談することが楽しみ。モットーは「日々是好日、日日は感謝」。3人の子どもを育てた経験を生かし、女性が働きやすい職場づくりにも知恵を絞る。「優秀な人材に長く働いてほしい。家族を大切にしながら仕事も力していききたい」。休日

川崎社長の長男。大手IT企業を経て2014年に入社。経営方針の策定と実行、全社の営業全般を統括する。「社員の働きやすい環境づくりと、全社員一人一人の心を大事にしている。1男1女の父。(久保野剛) 第2、4水曜日掲載

MJC (宮崎市)

川崎社長 ICT通じ社会貢献

情報処理センター(現MJC)を設立した。

経営理念は「情報通信技術(ICT)を通じた地域社会への貢献」。IT不況や急激な技術革新などに対応しながら業務を着実に拡大発展してきた。47年間で培った多彩なノウハウと高度なIT技術力で、全国の自

に努力してきた。首都圏を中心としたシステム開発をネットワークでつなぎ、宮崎で行う「高度ニアショア開発」も実現。創業50周年を目前に信頼する幹部社員とさらなるグローバル展開を目指す。宮崎県ソフトウェアセンター取締役会長、県情報産業協会会長も務める。

常務経営企画本部長(32)は



川崎 友裕 社長



川崎 礼子 副社長



青柳 克隆 専務



川崎 裕介 常務

会社概要 九州最大級の独立系IT企業で、1972(昭和47)年設立。防災・減災対策のコンサルティングや緊急医療情報システム、消防統計システムなどが全国の自治体で活用されている。大手企業の製造、電力、ガス、通信、流通、金融システムの開発も手掛ける。社員数約3000人。新卒採用は九州の国立大を中心に地元出身者も多数。毎年15人程度。資本金1億円。支社は東京、大阪、福岡。本社は宮崎市霧島2の84の1。

縁結びの逸話持つ絵



アラカルト

社長室の壁に飾っている30号(長辺が約90センチ)の油彩は、川崎社長と親交の深い元トッパン・フォームズ社長の福田泰弘氏の作品。秋の薬師寺(奈良)の風景を描いている。米国経済紙「フォーブス」の顧問(米の元国防長官)からの依頼でニューヨークの展覧会に出品した際、米国へ赴任する若手社員に頼み、絵を手荷物として機内ビジネスクラスに持ち込んでもらった。そこで親切にしてくれた客室乗務員の女性と後ほど結婚したという。この逸話に「ご縁を生む、幸運を呼ぶ絵」と譲り受けた。川崎社長は「眺めるたびに、豊かで穏やかな気持ちになる」と話している。